

令和7年度

# 学校関係者評価報告資料

最終報告（2月）

## <教育目標>

- よく学び、深く考える生徒
- 思いやりと規範意識のある生徒
- すすんで体を鍛える生徒
- 社会に貢献する生徒

## <目指す学校像>

- 《目指す教師像》 生徒のやる気に火を付けられる教師
- 《目指す子供像》 主体的に考え、行動できる生徒

令和8年1月10日（土）

江戸川立篠崎中学校



令和7年度

# 学校関係者評価報告資料

(最終報告)

## もくじ

### < 全体共通 ～通常学級～ >

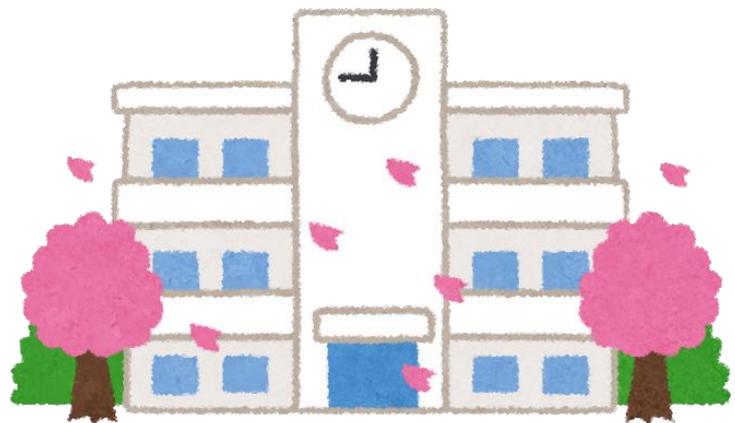
1	学力の向上 . . . . .	P 4
	(1) 篠崎中学校「学力向上推進計画」に基づいた学力向上	
	(2) 学習指導要領に対応した教員の指導力向上	
2	体力の向上 . . . . .	P 5
	(3) 豊かなスポーツライフの実現に向けた取組の充実	
3	子どもたちの健全育成 . . . . .	P 7
	(4) 自己と他者を大切に、多様性を認め合える人権尊重意識の涵養	
	(5) 生徒理解に基づいた支援の充実	
	(6) 「未来を担う子供たちの自立に向けて」による不登校支援の充実	
4	共生社会の実現に向けた教育の推進 . . . . .	P 10
	(7) 共生社会に向けた特別支援教育の推進	
5	地域に開かれた学校の実現 . . . . .	P 14
	(8) CS 運営マニュアルに基づいた CS モデル校の運営充実	
	(9) 学校情報の積極的な配信	
6	その他 . . . . .	P 15
	(10) 教員の生徒と向き合う時間の確保	
	(11) より良い学校設備の整備・充実	
	(12) 食育の推進	

### < 特別支援学級 ～8組～ >

1	学力の向上 . . . . .	P 20
	(1) 篠崎中学校「学力向上推進計画」に基づいた学力向上	
	(2) 学習指導要領に対応した教員の指導力向上	
2	体力の向上 . . . . .	P 21
	(3) 豊かなスポーツライフの実現に向けた取組の充実	
3	子どもたちの健全育成 . . . . .	P 21
	(5) 生徒理解に基づいた支援の充実	
4	共生社会の実現に向けた教育の推進 . . . . .	P 22
	(7) 共生社会に向けた特別支援教育の推進	

< チャレンジクラス ～9組～ >

1	学力の向上	P 24
	(1) チャレンジクラス運営マニュアルに基づいた学力向上	
	(2) 学習指導要領に対応した教員の指導力向上	
2	体力の向上	P 25
	(3) 豊かなスポーツライフの実現に向けた取組の充実	
3	子どもたちの健全育成	P 26
	(5) 生徒理解に基づいた支援の充実	
	(6) 「未来を担う子供たちの自立に向けて」による不登校支援の充実	
4	共生社会の実現に向けた教育の推進	P 28
	(7) 共生社会に向けた特別支援教育の推進	
5	地域に開かれた学校の実現	P 29
	(8) CS 運営マニュアルに基づいた CS モデル校の運営充実	





# 全体共通 通常学級



中期目標1	学力の向上
基本方針	(1) 篠崎中学校「学力向上推進計画」に基づいた学力向上

数値目標 国学力調査数学・英語の平均正答率が、都の平均以上

具体的方策① EDO スク、EDO 学舎、EDO 塾など、家庭と連携した学習習慣の定着をする。

資料1 放課後補習の実施状況 (令和7年10月現在)

民間企業による補習	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			通年	定期考査
第一学年	17人	28人	9人	6人
第二学年	23人	12人	15人	8人
第三学年	17人	12人	5人	8人
合計	57人	52人	29人	22人

令和7年度から受講内容を変更

※通年：英語と数学 概ね1時間程度

※定期考査：定期考査前に英語・数学を指導

参考資料 全国学力調査結果

		令和5年		令和6年		令和7年	
		平均正答数	平均正答率(%)	平均正答数	平均正答率(%)	平均正答数	平均正答率(%)
国語	篠崎中学校	11.1 / 15	74	8.1 / 15	54.0	7.9 / 14	57.0
	東京都(公立)	10.8 / 15	72	9.1 / 15	60.6	8.0 / 15	57.0
	全国(公立)	10.5 / 15	69.8	8.7 / 15	58.0	7.6 / 15	54.3
数学	篠崎中学校	8.3 / 15	55	8.8 / 15	55.0	8.3 / 15	56.0
	東京都(公立)	8.2 / 15	54	9.1 / 15	56.8	8.0 / 15	53.0
	全国(公立)	7.6 / 15	51.0	8.4 / 15	52.5	7.2 / 15	48.3
理科	篠崎中学校	/		/		490.0	IRT
	東京都(公立)	/		/		506.0	IRT
	全国(公立)	/		/		503.0	IRT
英語	篠崎中学校	8.6 / 17	51			/	
	東京都(公立)	8.8 / 17	52			/	
	全国(公立)	7.7 / 17	45.6			/	

中期目標1	学力の向上
基本方針	(2) 学習指導要領に対応した教員の指導力向上

数値目標 調べる学習コンクールへ300人以上が出品

具体的方策① 調べる学習コンクールへの出品を軸にした、読書科の充実

資料1 図書館を使った調べる学習コンクールへの参加状況

<R5>

	参加人数	受賞者	主な内容
第一学年	176人	江戸川区内 金賞 2名	ふくろうの生態、各地の方言について、天気の仕事、SDGsで何が出来るか など

<R6>

	参加人数	受賞者	主な内容
第一学年	198人	区内銀賞1名	火山の噴火、動物について など
第二学年	138人	区内銀賞1名	言葉の成り立ち、SDGS など
第三学年	193人	区内銀賞3名	方言について、宇宙について など

<R7>

	参加人数	受賞者	主な内容
第一学年	168人	区内銀賞3名	感情表現、良い夢を見る方法、竹がなぜ親しまれているか
第二学年	206人	0名	
第三学年	157人	区内銀賞1名	運動は学力を上げられるか

<b>中期目標2</b>	体力の向上
<b>基本方針</b>	(3) 豊かなスポーツライフの実現に向けた取組の充実

数値目標 東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査で、全学年が都の平均以上

**具体的方策① 本校の課題を意識した保健体育科の授業における補助運動の充実**

**資料1 各単元等における主な補助運動**

- 陸上・・・ミニハードル
- ハンドボール・・・敏捷性につながるステップ
- 水泳・・・肩回りの重点的なストレッチ
- バレーボール・・・敏捷性につながるウォームアップ
- 器械運動・・・柔軟・バランスなどを取り入れたサーキット

**具体的方策② 「フィットネスエリア」を活用した個に応じたトレーニングの充実**

**資料1 フィットネスエリアの設置状況**

- ・場所の確保と整理ができた状況である。
- ・今後は、トレーナー等と話し合いながら、必要物品等を予算に応じて導入していく。

<現在の状況>



**資料2 フィットネスエリアの活用状況**

- ・トレーニング部を中心に活用
- ・他の運動部も、必要に応じて活用（14部活中、8部活が活用）

**参考資料 体力調査結果**

		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
		学校	都	区	学校	都	区	学校	都	区	学校	都	区	学校	都	区
1年男	A	2.9	2.6	2.1	1.1	3.3	3.7	4.9	3.3	2.7	34.5	33.2	33.7	4.0	3.5	4.5
	B	18.8	16.1	14.6	17.0	17.2	16.0	8.5	17.3	17.5				25.0	19.6	22.4
	C	31.9	34.7	34.0	35.2	33.9	31.7	36.6	33.8	31.9				34.2	34.8	35.1
	D	30.4	34.6	33.4	34.1	33.6	35.9	39.0	33.2	33.1				23.7	31.5	28.7
	E	15.9	12.1	15.9	12.5	12.0	12.8	11.0	12.5	14.8				13.2	10.6	9.3
1年女	A	14.1	22.3	20.8	27.0	21.9	20.9	27.6	21.0	19.1	41.1	42.1	41.7	19.4	22.9	23.9
	B	40.0	34.3	32.7	36.0	33.5	33.7	28.9	32.6	31.6				46.8	33.3	35.4
	C	24.7	29.3	30.5	23.6	29.1	28.0	27.6	29.5	31.9				25.8	28.6	25.6
	D	17.6	12.4	14.2	11.2	13.4	15.4	14.5	14.6	14.6				6.5	13.7	13.3
	E	3.5	1.8	1.8	2.2	2.2	2.0	1.3	2.3	2.7				1.6	1.5	1.8
2年男	A	4.1	5.0	4.6	3.1	5.8	5.1	8.9	6.7	6.4	40.8	40.8	41.2	13.4	7.5	10.0
	B	17.3	20.7	20.3	21.9	21.5	19.6	29.1	22.3	20.8				26.8	24.2	25.6
	C	30.6	37.0	34.2	29.2	36.9	37.9	34.2	35.9	35.3				29.3	36.1	33.2
	D	33.7	27.3	29.7	32.3	26.0	25.4	22.8	25.7	27.1				20.7	24.3	23.2
	E	14.3	9.9	11.2	13.5	9.8	12.1	5.1	9.5	10.4				9.8	7.9	8.0
2年女	A	10.2	21.5	20.1	14.6	20.0	19.6	32.9	20.3	19.7	46.7	46.2	46.0	14.6	21.1	21.7
	B	39.8	32.5	32.0	31.7	30.9	28.4	28.9	30.1	29.7				35.4	30.7	28.0
	C	26.1	30.0	30.1	31.7	30.5	30.9	28.9	30.4	29.9				20.7	29.7	31.1
	D	15.9	13.3	14.9	17.1	15.2	17.5	7.9	15.4	16.9				22.0	15.6	16.0
	E	8.0	2.7	2.9	4.9	3.4	3.6	1.3	3.9	3.8				7.3	2.9	3.2
3年男	A	20.5	11.4	12.3	8.2	11.5	11.5	8.8	12.1	12.4	49.6	47.3	47.0	20.5	15.7	18.3
	B	28.8	25.8	26.9	24.5	25.5	25.5	27.5	25.8	25.1				31.3	27.3	26.3
	C	26.0	34.6	32.4	33.7	34.7	33.0	36.3	34.0	33.5				28.9	33.0	30.8
	D	19.2	20.8	20.3	22.4	20.6	21.7	20.0	20.1	20.0				14.7	18.1	18.0
	E	5.5	7.5	8.0	11.2	7.8	8.3	7.5	8.0	8.9				4.8	5.9	6.6
3年女	A	6.3	21.9	21.4	17.8	20.6	21.3	17.4	19.8	19.9	51.4	48.9	48.7	34.9	19.6	20.0
	B	34.9	29.0	29.7	30.0	27.3	28.2	30.4	25.7	23.7				21.2	26.0	25.0
	C	34.9	30.2	28.4	25.6	30.4	28.8	30.4	30.3	30.9				25.8	30.4	31.1
	D	17.5	15.1	15.9	14.4	16.8	16.7	20.3	18.5	19.6				15.2	18.7	18.1
	E	6.3	3.8	4.6	12.2	4.9	5.0	1.4	5.7	5.9				3.0	5.3	5.8
全学年	A	9.7	14.1	13.6	12.0	13.8	13.7	16.7	13.9	13.4	264.2	258.5	258.2			
	B	29.9	26.4	26.0	26.8	26.0	25.2	25.6	25.6	24.8						
	C	29.0	32.6	31.6	29.8	32.6	31.7	32.3	32.3	32.2						
	D	22.4	20.6	21.4	21.9	20.9	22.1	18.3	18.8	19.4						
	E	8.9	6.3	7.4	9.4	6.7	7.3	4.6	7	7.8						

※令和6年度は、ABCDE%は示されず、平均点のみ提示された。

中期目標3	子どもたちの健全育成等の強化
基本方針	(4) 自己と他者を大切に、多様性を認め合える人権尊重意識の涵養

- 数値目標
- ・いじめに関わる授業について、全学級年間3回以上
  - ・重大事態事案「0」

### 具体的方策① 道徳地区公開講座を充実しての学校と家庭の連携を図った道徳教育の充実

#### 資料1 取組の状況

- 1 道徳地区公開講座について
  - (1) 実施日 令和7年10月29日(水) 午後1時40分から
  - (2) 参加者 第三学年生徒、保護者、教員
  - (3) 講師 松井指導主事
  - (4) 内容 人間の尊厳について「残された水」

### 具体的方策② 職員の人権教育に係る研修の充実(フィールドワーク等)

#### 資料1 取組の状況

- 1 人権尊重教育に係るフィールドワークの実施(人権課題「特別支援」)
  - (1) 実施日 令和7年11月12日(水) 午後4時から
  - (2) 参加者 希望した本校教員(38名)
  - (3) 講師 研究所相談員
  - (4) 内容 WISCVの実技研修について
- 2 人権尊重教育に係るフィールドワークの実施(人権課題「同和教育」) 予定
  - (1) 実施日 令和8年2月26日(木) 午後2時から
  - (2) 参加者 希望した本校教員
  - (3) 講師 東京都人権啓発センター
  - (4) 内容 山谷掘り地区から回向院までのフィールドワーク  
講義1時間 フィールドワーク2時間

#### 参考資料

- いじめの認知件数 令和7年度 9件(令和8年1月現在)
- 重大事案件数 令和7年度 2件(令和8年1月現在)



中期目標3	子どもたちの健全育成等の強化
基本方針	(5) 生徒理解に基づいた支援の充実

数値目標 hyper-QU<sup>※2</sup> 回目において、学級生活不満足度群が全体の10%以下  
R6→1年：17% 2年：17% 3年：10%

**具体的方策① 生徒会予算を投じた、より主体的な生徒会活動の活性化**

**資料1 生徒会の取り組み**

- ・生徒会による生徒が必要な物品募集及び購入

**<R6>**

提案内容：冷水器、校庭の環境整備、プール更衣室の整備 等

購入物品：校庭の環境整備（校庭整備物品等）、プール更衣室の整備は、次年度予算で整備

**<R7>**

提案内容：掃除機（学年フロア用）、時計（廊下用）、スノコ（プール更衣室）、扇風機（女子更衣室用）

購入物品：予算内に収まったため、上記全ての提案内容を購入

**具体的方策② 「いいところ見つけ週間」全教員による全生徒への称賛を与える機会の確保**

**資料1 取組状況**

- ・実施せず

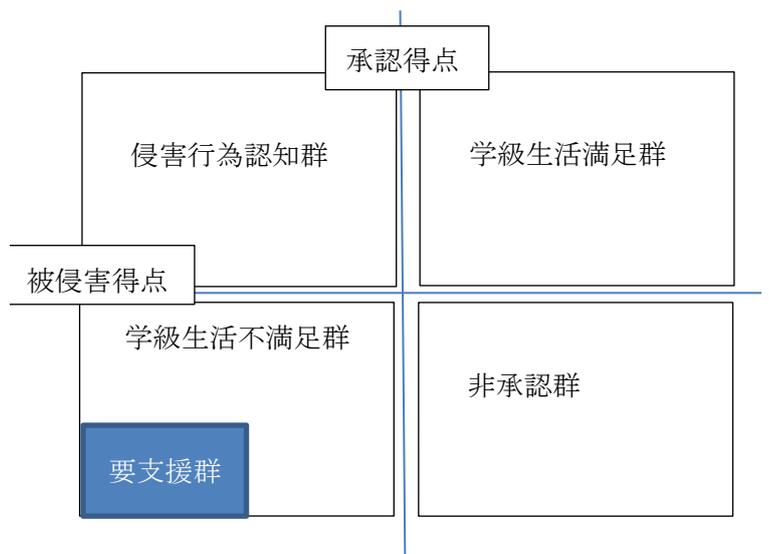
⇒達人ちゃん表彰に変えて実施

R7 22名が表彰（給食準備、バレー審判、エアロビック、数学など）

**参考資料**

OQUテスト（学級満足度調査）による要支援群の状況

		（%）					
		令和5年		令和6年		令和7年	
		6月	12月	6月	12月	6月	12月
第一学年	満足	60	63	58	58	66	69
	非承認	17	12	13	9	9	4
	侵害行為	8	9	10	17	15	14
	不満足	16	16	20	17	11	13
	要支援	5.6	4	5.6	4.9	2.6	2.1
第二学年	満足	64	60	60	60	69	66
	非承認	9	13	11	10	8	10
	侵害行為	11	11	10	12	10	13
	不満足	16	16	18	17	14	11
	要支援	2.6	4.0	5.2	4.4	2.4	3.3
第三学年	満足	56	60	71	79	70	72
	非承認	17	14	8	6	8	8
	侵害行為	10	9	10	6	8	5
	不満足	17	17	11	10	15	15
	要支援	4.1	3.0	4.2	1.6	4.3	3.2



中期目標3	子どもたちの健全育成等の強化
基本方針	(6)「未来を担う子供たちの自立に向けて」に準じた不登校支援の充実

数値目標 不登校もしくは長期欠席者のうち、外部専門機関につながない生徒0

### 具体的方策① ほっとルーム及びチャレンジクラスを活用した支援の充実

#### 資料1 ほっとルームの活用状況

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
第一学年	6人	6人	2人
第二学年	4人	4人	5人
第三学年	2人	5人	6人
合計	12人	15人	13人



※令和8年1月現在

#### 資料2 チャレンジの在籍人数 (令和8年1月現在)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
第一学年	0	4 (2)	5
第二学年	0	3	6
第三学年	0	2	6
合計	0	9	17

( )内は退級人数

#### 参考資料

○不登校もしくは長期欠席者のうち、外部専門機関につながない生徒

R5 ⇒ 0人

R6 ⇒ 2人

○不登校生徒数及び出現率

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
1学年	11	15	11	14	21
2学年	16	22	24	23	20
3学年	10	15	25	15	25
合計	37	52	60	52	66
全生徒数	589	619	659	643	665
出現率	6.28%	8.40%	9.10%	8.09%	9.92%



## 具体的方策② 不登校・不登校傾向の生徒の部活動や地域活動への参加を促進

○チャレンジクラスの部活動・ボランティア参加率

	令和6年	令和7年
部活動参加	3	6
ボランティア参加	3	2
参加人数	6	8
全生徒数	10	16
出現率	30.00%	37.50%

中期目標4	共生社会の実現に向けた教育の推進
基本方針	(7) 共生社会に向けた特別支援教育の推進

数値目標 全教員で学びのユニバーサルデザインを活用した授業等の工夫事例集を増補

## 具体的方策① 交流及び共同学習の充実（給食、行事、部活動、実技教科等）

### 資料1 交流及び共同学習の実施状況（含む予定）

<令和7年度>

- 各教科等における交流及び共同学習実施

教科	学年	単元（通常学級）	実施期間（回数）
技術	第一学年	木工（第一学年）	9～11月（12回）
	第二学年	テーブルタップ（第二学年）	1～2月（8回）
	第三学年	プログラミング（第三学年）	9～10月（8回）
家庭	第一学年	ストラップづくり（第一学年）	1～2月（3回）
	第二学年	献立作り（第二学年）	11月（2回）
	第三学年	幼児教育（第三学年）	2月（2回）
音楽	第一学年	合唱（三送会に向けて）	1～3月（8回）
	第二学年	合唱（三送会に向けて）	
	第三学年	合唱（卒業式に向けて）	
美術	第一学年	鑑賞（第一学年）	12月（1回）
	第二学年	写真・アイパッド（第二学年）	5～6月（2回）
	第三学年	鑑賞（第三学年）	12月（1回）
保健体育	第一学年	ソーラン節（第三学年）	5月（4回）
	第二学年		
	第三学年		

・特別活動・部活動

	特別活動	部活動
第一学年	校外遠足 2 回、生徒会	ダンス、ヨガ、トレーニング、ボードゲーム、吹奏楽
第二学年	移動教室、校外遠足、生徒会	ダンス、ヨガ
第三学年	修学旅行、生徒会	野球



具体的方策② 全教員による年間 1 回以上の特別支援学級における出前授業の実施

数値目標 全通常学級担当教員による出前授業の実施

資料 1 実施状況

令和 8 年 1 月現在

	R6	R7	例
第一学年	3 (30%)	6 (10%)	英語 (ハロウィン、ビンゴ)、歴史、数学 (マンツーマン) 体育 (バスケットボール)、国語 (百人一首)
第二学年	2 (22%)	4 (40%)	英語 (ハロウィン、ビンゴ)、数学 (比例、反比例) 体育 (バスケットボール)、国語 (百人一首)
第三学年	3 (30%)	5 (55%)	保体 (ソーラン) 数学 (マンツーマン)、地理 (世界史)、国語 (百人一首)
合計	8	15	

具体的方策③ 「学びのユニバーサルデザイン」を取り入れた授業の工夫・改善

資料 1 学びのユニバーサルデザインの実践事例 (2024 増補版)

※ユニバーサルデザインラーニングとは・・・

米国の CAST が提唱している、学ぶための選択肢を多様にすることによって、教室における学びを誰にとっても達成可能となるように調整可能となるように調整するための理論的枠組み。

- ・ 提示 (理解) のための多様な方法の提供
- ・ 行動と表出に関する多様な方法の提供
- ・ 取組のための多様な方法の提供

<参考例>

**ガイドライン4「身体動作のためのオプションを紹介する」**

工具選びについて、最適なものを選択できるようにする

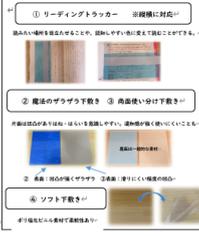
- 1 支援・配慮  
 扉書様式や学習を進める方法を変える。
- 2 説明  
 ・一つの作業でも、複数の方法で作業ができることを紹介し、自分自身に最適なものを選択してもらおう。  
 ・写真などであける作業における方法を3種類から選べるようにする。これでも難しい場合は、機械を使用などの配慮を行う。



**ガイドライン4「身体動作のためのオプションを提示する」**

注目する場所を明確にして、眼と体を運動させる！

- 1 教員のアクセスを最適化する
- 2 説明  
 読み書きが苦手、授業内容の理解に悩んでいる生徒が、学習理解のためにより良い学習環境を整える1つの手段として使うことができます。中学生という発達過程の中で、声と書く行動をとることに違和感を覚える生徒が多い中、自立たすに使える以下の補助具を紹介します。  
 ① リーディングトラッカー  
 →注目すべき箇所を強調させる。  
 ② 魔法のリザラ下敷き：凹凸強い  
 ③ 両面書き分け下敷き：凹凸強い  
 ④ ソフト下敷き  
 →凹凸や柔らかさがある下敷きを使うことで、ペンの転動が滑り、筆でのイメージと手の動きを一致させる。



**ガイドライン8「努力や頑張りを継続させるためのオプション」**

マイナスなことも前向きな考え方や言葉かけに変換しよう

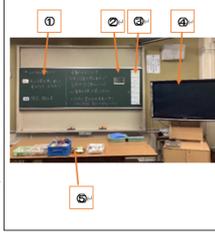
- 1 臨機と相意思を育む
- 2 説明  
 「どうせ…」 「やっても意味がない」とすぐあきらめてしまう生徒。「なんでできないの!」 「こんなこともわからないの!」 という声が届く交うクラスなど、そんな雰囲気を作らないために、日々学校全体で前向きな考え言葉に変換する習慣をつけます。  
 「声かけ変換表」などの本や資料がありますが、それを参考に学校全体や教室、クラスで話し合い、自分たちで特に意識したほうがいい「声かけ変換表」を作成し、クラス全体で、努力や頑張りを継続させるようにします。



**ガイドライン3「理解のためのオプションを提供する」**

わかりやすいヒントやキューイング(合図)を提供した板書づくり

- 1 パターン、重要事項、全体像、関係を目立たせる。
- 2 説明  
 ① 板書左側には本時のめあてと準備で必要なものを書き、板書右側には要点を書く。  
 ② 制作と片付けのタイミングでタイマーをかり、残り時間を視覚的に確認できるようにする。  
 ③ 制作のスケジュールを指示し、進捗の確認をする。  
 ④ 必要に応じて説明のモニターを使用する。  
 ⑤ 授業で必要な道具などは教卓に準備しておく。



資料3 特別支援教室(しのたけルーム)の活用状況

	合計	在籍	入学時	途中入室	途中退室	卒業
R2	5	2		3	0	0
R3	11	5	5	1	0	4
R4	11	7	4	0	2	1
R5	18	8	8	2	4	3
R6	24	9	12	3	1	6
R7	20	12	8	1	1	4

※令和8年1月現在

中期目標5	地域に開かれた学校の実現
基本方針	(8)「コミュニティ・スクール運営マニュアル」に基づいたCSモデル校の運営充実

数値目標 外部指導員の導入数が、全部活動の5割以上

具体的方策① 地域の方々を部活動に招いた「篠中サークル」など、地域学校協働本部を活性化させた多様な活動の推進

資料1 外部指導員（区費）※正規正教員の顧問を必要とする

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
種目	陸上	陸上	陸上、美術、スポーツ、柔道、野球	陸上、卓球、柔道、剣道、バド、バレー、男女バスケット、トレーニング、野球、ヨガ、ダンス、吹奏楽、美術、英語、手づくり、ボードゲーム	陸上、卓球、剣道、バレー、男女バスケット、トレーニング、野球、ヨガ、ダンス、吹奏楽、英語、手づくり、ボードゲーム
人数	2名	2名	6	36	51

資料2 部活動指導員（都費）※正規教員の顧問を必要としない。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
種目	なし	なし	陸上	陸上、柔道	卓球、ローラースケート、バドミントン
人数	0	0	1	2	5

資料3 外部指導員（含む部活動指導員）導入割合

年度	部活動数	外部指導員数	導入部活動割合	備考
R5	19	6	約31%	
R6	22	36	約77%	
R7	23	46	約78%	

具体的方策③ 一人1ボランティア運動の推奨

資料1 ボランティアへの参加状況

<令和5年度ボランティア参加状況>

	第一学年	第二学年	第三学年	全体
地域の祭り（含む篠中フェスタ）	26	16	62	104
夏のボランティア	14	10	31	55
部活動	2	5	4	11
その他	4	7	15	26
参加者延べ人数合計	46	38	112	196
実施人数合計	36	35	83	154
実施人数割合	17%	16%	38%	24%
在籍人数	206	222	216	644

<令和6年度ボランティア参加状況>

	第一学年	第二学年	第三学年	全体
地域の祭り（含む篠中フェスタ）	48	28	45	121
夏のボランティア	4	6	2	12
部活動	6	18	1	25
その他	12	6	19	37
参加者延べ人数合計	70	58	67	195
実施人数合計	62	39	60	161
実施人数割合	26%	19%	27%	24%
在籍人数	234	208	223	665

<令和7年度ボランティア参加状況>

	第一学年	第二学年	第三学年	全体
地域の祭り（含む篠中フェスタ）	20	38	43	101
夏のボランティア	7	7	16	30
部活動	8	15	2	25
その他	75	72	25	172
参加者延べ人数合計	110	132	86	328
実施人数合計	90	119	67	276
実施人数割合	44%	51%	32%	43%
在籍人数	204	234	211	649

<b>中期目標5</b>	地域に開かれた学校の実現
<b>基本方針</b>	(9) 学校情報の積極的な配信

数値目標 年間10本以上の動画の配信

具体的方策① 学校情報の積極的な配信

資料1 篠中ちゃんねる配信回数（1月現在）

	R5	R6	R7
回数	—	14	8



中期目標6	その他
基本方針	(10) 教員の生徒と向き合う時間の確保

数値目標 超過勤務時間、月 60 時間以内を年間 6 ヶ月以上の教員が全体の 7 割以下

## 具体的方策① 「働き方改革推進計画」の進捗管理

### 資料1 校務分掌の平準化

- ・分掌：教務、生活、進路・学習 の3つの分掌から  
変更 ⇒ 教務、生活、進路・学習、特別支援、DX の5つの分掌へ
  - ・委員会：文化行事、体育行事、保健給食、特別支援教育推進、ICT の5つの委員会から  
変更 ⇒ 文化行事、体育行事、保健給食 の3つの委員会へ
- 成果：これにより、一人 1～3 役といった人員が無くなり、平準化が図られた  
課題：業務のすみ分けを再検討する必要がある。

### 資料2 部活動の平準化

- ・外部指導員（含む部活動指導員）：令和 5 年度 7 人から  
変更 ⇒ R7 46 人へ
- ・顧問数 週 1 回の部活を除き、2 名から 4 名の顧問を配置

### 資料3 篠崎中学校における「働き方推進計画」策定の中の終了取組（〇〇〇〇が終了）

- ・管理職による取組  
管理職の確固たる決意、働き方改革推進計画の策定、学校経営支援部の活用、学年会計事務の見直し、校務分掌の平準化、在校時間縮減に向けた取組強化、担当業務の引き継ぎ書の作成、部活動活動指針の策定
- ・校内校務改善委員会による取組  
会議の効率化（回数、ペーパーレス、朝打ち合わせ時間の効率化、学年・分掌部会の回数減）  
行事の精選、担任業務の平準化・簡素化、集金システムの活用、定期考査の効率化、清掃場所の精選、目直業務の精選、夏季休業中のプール分担、保護者対応等の効率化
- ・教職員一人一人の意識改革に向けた取組  
机上等の整理整頓、SSS の有効活用、C4<sup>++</sup>の連絡掲示板の活用

## 参考資料

### ○教員の超過勤務時間の状況

- ・令和 6 年度 9、10、11 月までの延べ人数

	45時間以下	60時間以下	80時間以下	100時間以上
第一学年	50	15	5	0
第二学年	36	19	4	0
第三学年	53	15	3	0
その他	91	6	0	0
合計	230	55	12	0

・令和7年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
45時間以下	50.0%	40.0%	65.0%	85.0%	100.0%	62.5%	47.5%	65.9%
60時間以下	32.5%	32.5%	22.5%	10.0%	0.0%	32.5%	27.5%	26.8%
80時間以上	17.5%	20.0%	12.5%	2.5%	0.0%	5.0%	22.5%	7.3%
100時間以下	0.0%	7.5%	0.0%	2.5%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%
100時間以上	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

中期目標6	その他
基本方針	(11) 効率的な学校事務の運用

具体的方策① 学校が管理すべき財産の整理・整頓

資料1 令和5年度に整理した学校財産

- ・木工準備室の整理 ⇒ 更衣室へ
- ・PC室及びPC準備室の整理 ⇒ 物品は廃棄済み、格技室に変更
- ・8組校舎一階の整理 ⇒ フィットネスルームへ
- ・来賓トイレ ⇒ 洗浄機の設置
- ・誰でもトイレの設置
- ・ほっとルームの設置
- ・女子更衣室の設置



資料2 令和6年度に整理した学校財産

	旧	新
1	第2会議室	印刷室
2	印刷室	物品倉庫
3	第1美術室	第2多目的室
4	第1美術室準備室	備蓄倉庫
5	調理室準備室	美術準備室と併用
6	調理室&8組作業室	美術作品室
7	プール下倉庫	校庭用物品倉庫、部活動活動場所
8	階段上	リサイクル机椅子一時的な保管場所
9	フィットネスエリア	フィットネスエリアの補強

○その他 校庭の整備

資料3 令和7年度に整理した学校財産(含む予定)

- 教材室の整理(棚の整理、不用品の廃棄、空間の有効活用をねらう)
- 図書準備室の整理(本棚の購入、図書館の機能を高める)

中期目標6	その他
基本方針	(12) 食育の推進

具体的方策① 家庭科と栄養士の連携を図った生徒の考えた「優秀献立」を充実する

資料2 家庭科等との教科と連携した食育の実施

- 生徒が献立のテーマを決めて、栄養基準に沿った献立を作成献立が採用された班は表彰を行う。

<採用された献立>

- 例：鳥ごぼうごはん、揚げ春巻き、切り干し大根とひじきの和え物、小松菜豆乳、みそ汁、みかん
- 班オリジナルメニュー例：グラパン、アクアパッツア





# 特別支援学級

## 8組



中期目標1 | 学力の向上

**基本方針**

(1) 篠崎中学校「学力向上推進計画」に基づいた学力向上

**具体的方策① 国語科・数学科・英語科（外国語科）・理科、社会において、学年の枠を超えた3クラス2～3展開の習熟度別学習を実施する。**

**資料1 実施の状況及び成果と課題**

## ○実施状況

年度初めにレディネステストを実施。その結果によりクラスを編成

## ○成果と課題

## ・成果

生徒の習熟度に合わせた指導を行いやすく、できることを強化し、できないことをカバーしやすいことから学力の底上げになった。

## ・課題

内容やクラスによって進度が異なるため、クラス替えが困難である。また、学習が得意な子が、苦手な子にアドバイスすることで、学習への理解が深まるといった学習に対する刺激や助け合いが少なくなってしまう。

**中期目標1**

学力の向上

**基本方針**

(2) 学習指導要領に対応した教員の指導力向上

**数値目標 教育課程に基づいた関連資料（各教科の年間計画）の見直し、改善。**

**具体的方策① 各教科等の目的や自立活動、作業学習等の目標を意識した適正な教育課程の編成をする。**

**資料1 実施の状況及び成果と課題**

## ○実施状況

偏りが出ないように留意し、教育課程を編成

## ○成果と課題

## ・成果

教育課程に基づいた関連資料の見直しをして改善を行ったことにより、時間割の編成や授業準備が円滑になった。

## ・課題

学習指導要領に準じたねらいの中で、下学年対応の内容等、個別に丁寧に行いたい。

	月	火	水	木	金	土
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						

**中期目標2**

体力の向上

**基本方針****(3) 豊かなスポーツライフの実現に向けた取組の充実**

数値目標 1回は概ね1週間、学期に一回程度

**具体的方策① 朝のトレーニング週間を設定しての体力の向上をする。****資料1 主な朝のトレーニングの実施の状況及び成果と課題**

## ○実施状況

朝のトレーニングを火～金に週2回実施している。全員参加の朝のトレーニングは、学期に1回数週間程度行っている。

## ○成果と課題

## ・成果

連合行事にあわせてのトレーニングはモチベーションを上げやすかった。体育の授業だけでは足りない部分を補うことができた。

## ・課題

運動が苦手な生徒や嫌いな生徒は参加率が低いため、実施回数や内容を工夫する必要がある。

**中期目標3**

子どもたちの健全育成等の強化

**基本方針****(5) 生徒理解に基づいた支援の充実**

数値目標 PTAと連携した作業学習を年間3回以上実施。

**具体的方策① 野菜や雑巾販売、喫茶店などPTAと連携した作業学習を充実する。****資料1 実施の状況及び成果と課題**

## ○成果と課題

## ・成果

生徒が意欲的に学習に取り組んでおり、実に生き生きとしていた。

他の学習では、見ることのできない姿が印象的であった。

## ・課題

教育効果としては、かなり高い作業学習であると感じている。課題としては、材料費（雑巾）の一部が公金であるため、公金でなく、PTAの財源をもとにしたい。

**中期目標4**

共生社会の実現に向けた教育の推進

- 数値目標 ○通常学級生徒の交流給食の受け入れ  
○出前授業の年間実施計画の作成

具体的方策① 日常的な交流及び共同学習の機会を設定し、交流及び共同学習の更なる充実をする。

資料1 実施の状況及び成果と課題

○実施状況

「P10」を参照のこと。

○成果と課題

・成果

生徒自身が交流及び共同学習の意義を理解し、前向きに取り組んでいる。  
交流及び共同学習をきっかけに通常学級との接点が増えた。

・課題

どうしても、通常学級になじめない生徒の個別対応が必要である。

具体的方策② 出前授業の年間実施計画の作成

資料1 実施の状況及び成果と課題

○成果と課題

・成果

専門性のある教員が指導することにより、より分かりやすく濃い授業を生徒が受けられた。

・課題

単元の流れの中で依頼しなくてはならないので、依頼するタイミングが非常に難しい。

参考資料

○交流及び共同学習年間指導計画の作成状況

⇒作成済み



# チャレンジクラス 9組



中期目標1	学力の向上
基本方針	(1) 基礎的・基本的事項の定着

**具体的方策① 国語科・数学科・英語科において、各教科担当教員を中心にチームティーチングを行い、学年の枠を超えた3クラス6展開の習熟度別自由進度学習の研究をする。**

**資料1 実施の状況及び成果と課題**

- 成果
  - 自分の理解にあわせた単元に取り組むことができた。
  - 分からない学習が無くなるため、学習意欲が向上した。
- 課題
  - 個別になり過ぎた場面があり、6展開で足りないことが予測される。

**具体的方策② 音楽科、美術科、技術科、家庭科については、各教科のねらいを維持させつつ、通称名「創造」とし、週時程に弾力性をもたせた指導を行う。**

**資料1 実施の状況及び成果と課題**

- 成果
  - 少人数のため、きめの細かい指導が実現でき、取り残されている生徒はいなかった。
- 課題
  - 生徒にとっては、比較的なじみやすい教科であり、週一回は物足りないと感じた。

**具体的方策③ 定期考査を廃止するなど、評定によらない評価を行う一方で、個の学習進度に応じた実力テストを実施するなどして、学習の習熟の程度を確認する。**

**資料1 実施の状況及び成果と課題**

- 実施状況
  - 学力格差が大きすぎるため、実力テストを実施しなかった。
  - ただし、当該学年の定期考査を受ける生徒がいた。
- 成果と課題
  - ・成果
    - 学習に対する必ず到達すべき点は、進度をゆっくりできる要因となっている。
    - 習熟の程度について、小学校段階まで戻って確認することができる。
  - ・課題
    - 進度がバラバラであるため、実力を図るためのテストの作成が難しかった。



中期目標1	学力の向上
基本方針	(2) 学習指導要領に対応した教員の指導力向上

具体的方策① 理科・社会科においては、生徒の選択した学習問題を設定し、自己の課題の解決に向けた調べる学習を実施し、定期的な学習発表会を実施する。

資料1 実施の状況及び成果と課題

○実施状況

教科書の単元を優先しており、調べる学習といった時間の設定が難しかった。

○成果と課題

・成果

意欲的に学習できるよう、単元を生徒が選択し、探究的な学びの実現が図れている。

・課題

人数が少ないこともあり、意見を交換して課題解決することができていない。

オンラインでの授業では、実験・実習ができない。

中期目標2	体力の向上
基本方針	(3) 豊かなスポーツライフの実現に向けた取組の充実

具体的方策① 保健体育科「体づくり運動（体ほぐしの運動）」において、専門家等と連携した自律神経を整える運動、通称名「リラックス」の授業を実施する。

資料1 実施の状況及び成果と課題

○実施状況

「リラックス」の時間はストレッチやダンス、バランスボールを使った運動など「体づくり運動」を中心に行った。今後はソーシャルワーカーと連携して、コミュニケーション力など生徒に必要なスキル向上を目的に取組を行っていく。

○成果と課題

・成果

運動を通して、協力やゲーム性を取り入れて運動に対して前向きな姿勢を醸成出来てきた。

・課題

運動に対して消極的な場面がみられるため、負荷の高い運動は行っていない。そのため、体力向上という観点からは不十分であった。



中期目標3	子どもたちの健全育成等の強化
基本方針	(5) 生徒理解に基づいた支援の充実

**具体的方策① 制服や体育着の着用を求めないなど、生徒の実態に応じた「きまり」の抜本的な見直しをする。**

**資料1 実施の状況及び成果と課題**

○実施状況

生活のきまりを見直したが、概ね、これまで通りの生活様式を自ら行った。

○成果と課題

・成果

指導や注意を受けることが少なくなったため、ストレスの軽減にはなっている。

・課題

自身の行動が許される部分があるため、時間がルーズになりがちである。

**具体的方策② 睡眠や食欲、腹痛、頭痛など、日々の記録を綴ることができる連絡帳「(仮称) マイライフ」を作成し、生徒一人一人の状況を把握した支援をする。**

**資料1 実施の状況及び成果と課題**

○成果

生徒の前日の調子や睡眠時間を把握することで、声掛けがしやすくなる。また、本年度は、マイライフから L-Gate で実施（内容は、9組独自）

○課題

習慣化させて、自発的に自らの生活リズムや一日のまとめをできるように促すこと。

**具体的方策③ 登校後の朝の時間を活用し、ソーシャルスキルトレーニング（SST）を実施する。**

**資料1 実施の状況及び成果と課題**

○実施状況

副教材を、それぞれの進度に併せて実施した。

○成果と課題

・成果

自分を見直す、良い機会となっていると感じた。

・課題

他者との比較が難しく、評価が困難である。



中期目標3	子どもたちの健全育成等の強化
基本方針	(6) 不登校支援の充実

数値目標 全生徒が、入級後、全体の出席すべき日数の内、85%出席

### 具体的方策① 登校コースとオンラインコースを設定した指導体制を構築する。

#### 資料1 実施の状況及び成果と課題

##### ○実施状況

登校コースのみとなっているが、現状としては常時オンラインの生徒がいる。

##### ○成果と課題

###### ・成果

授業等の空白時間がないため、復帰後にスムーズに授業を受けられる。

###### ・課題

オンライン授業が増え、かつ、現在と同様の授業展開となると、個別の端末が必要になることが予想され、ハード面の課題が大きい。

### 具体的方策② 従来の教室環境を一掃し、生徒がより主体的に学べる教室環境の整備・充実をする。

#### 資料1 実施の状況及び成果と課題

##### ○成果

椅子や机をその時々の状況で移動でき、習熟度別自由進度学習に対応できている。

##### ○課題

主体的に学ぶ態度の育成にはもう一工夫必要である。

### 具体的方策③ 「ほっとルーム」をプレ学級（準備学級）と位置付け、学習意欲の向上等、入級準備をする。

#### 資料1 実施の状況及び成果と課題

##### ○成果

新入生については、プレ学級参加した方が、出席状況がよかった。

##### ○課題

生活リズムの確立には良いが、教室の雰囲気は全く異なることが懸念される。



**具体的方策④ 年間を通じた農業体験やセカンドスクール等、平素と異なる生活環境での体験的な学習を実施する。**

**資料1 実施の状況及び成果と課題**

○実施状況

遠足（体験的学習）を4日間、職場体験3日間、宿泊2日間を実施（予定）している。

○成果と課題

・成果

出席率は高く、意欲も高い。

・課題

3年間を見通した多彩なプログラムが必要になってくる。

**参考資料**

○令和6年度チャレンジクラス生徒の登校状況 ※令和6年11月末現在

・前年度登校率 40.5%（平均値）

・本年度登校率 90%

中期目標4	共生社会の実現に向けた教育の推進
基本方針	(7) 共生社会に向けた特別支援教育の推進

数値目標 週1回1週間程度を目途に、年間3回実施

**具体的方策① 特別支援学級との交流給食を実施する。**

**資料1 実施の状況及び成果と課題**

○実施状況

学期に1回程度を実施している。

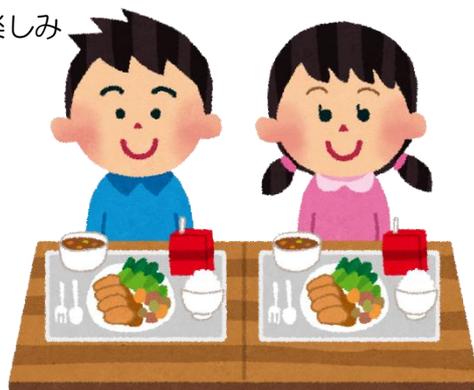
○成果と課題

・成果

多くの人々と触れ合う機会は大切

・課題

お客様扱いになっていることが多く、共同し、ともに楽しみあう工夫が必要である。



中期目標5	地域に開かれた学校の実現
基本方針	(8) CS マニュアルに基づいた CS モデル校の運営充実

数値目標 本校部活動、もしくは、地域のボランティアサークルに年間を通して参加する生徒の割合が2割以上。

具体的方策① 地域と連携した「ウェルカムフラワー運動」を委員会活動として実施した帰属意識の涵養を図る。

資料1

○実施状況

- ・江戸川区緑の環境財団の支援をいただきながら、9組独立委員会としてお花委員会を設置。年間を通して、地域の方々と植物を育成。

○成果と課題

- ・一定程度の定着が図れてきたが、まだまだ、見栄えが悪く、生徒の達成感が味わえていない。

具体的方策② 生徒の部活動や地域活動への参加を促進する。

資料1 実施の状況及び成果と課題

○実施状況

- ・1名が、ポニーランドで定期的にボランティアを開始

○成果と課題

人との触れ合いについて、ハードルが高い生徒も複数人いる。

参考資料

○チャレンジクラスにおける部活動等への参加状況

令和7年度は16名中、6名が参加している。

ダンス部、吹奏楽部、手作り部、野球部、トレーニング部



学校評価(生徒・保護者・教員アンケート)集計結果

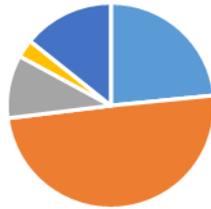
①通常級

■すごく思う ■少し思う ■あまり思わない ■思わない ■わからない

	生徒(502名)	保護者(141名)	教員(43名)
放課後補習等、授業時間以外(塾なども含む)の学習を十分に行えていますか?			
各教科の授業で、自ら課題を見つけて、その解決に取り組む学習が行われていますか?			
調べる学習コンクールへの出品は役に立ちましたか?			
保健体育科の授業における補助運動は体力向上に向けて役に立っていますか?			
「フィットネスエリア」は役に立っていますか?			

<p>学校全体(生徒・教員間)で、生徒の人権は尊重されていますか？</p>			
<p>(3年生のみ回答)道徳地区公開講座「残された水」の授業は役に立ちましたか？</p>			
<p>学校のきまりは適切ですか？</p>			
<p>生徒会予算を投じるなど、より主体的な生徒会活動は出来ていますか？</p>			
<p>教員から褒められる機会があると思いますか？</p>			
<p>ほっとルーム及びチャレンジクラスは知っていますか？</p>			

<p>部活動や地域活動への参加が推進されていると思いますか？</p>			
<p>特別支援学級との交流および共同学習は有意義であると思いますか？</p>			
<p>よく分かりやすい授業の工夫がされていますか？</p>			
<p>多様な部活動があると思いますか？</p>			
<p>保護者や地域の方々による学校教育への参画は役に立っていますか？</p>			
<p>1人1ボランティア運動については、良い取り組みだと思いますか？</p>			

<p>学校の情報発信はよくできていますか？</p>			
<p>教師と生徒が十分に会話をできていると思いますか？</p>			
<p>学校の施設は有効活用できていると思いますか？</p>			
<p>給食には満足していますか？</p>			

## 生徒意見

### 教務部

○いい学校です

⇒ありがとうございます。今後もより良い学校を目指していきたいと考えております。

○学校を週4にしたい!

⇒授業時数については、国が定めているため、学校では決定することができません。

○朝読書の時間から10分間勉強をしいことしてほしい

⇒朝読書の時間は江戸川区全体で決められているため、学校では変えることはできません。

### 生活指導部

○目安箱のデジタル化が行われれば良いと思います。

⇒生徒会担当と相談をして、検討していきたいと思います。

○フィットネスエリアは部活動以外で使用できますか？

⇒管理者がいないため、安全面から自由に開放することができないのが現状です。

○給水機が欲しいです

⇒学校としても、昨年度から様々な面から検討しており、教職員も必要と感じています。一方で、区役所では、工事費や衛生面等も踏まえ慎重に検討しているところです。今後も、可能な限り、区役所とともに検討をしていきたいと考えています。

○うちのクラスの女子がうるさい人が多いです。

⇒お互いにマナーを守るようにしてください。

○外用のバレーボールが欲しい(他2名)

⇒3学期には補充をできるよう検討していきます。

○フィットネスエリアがわかりません。あとボランティア活動等は学校の推進だけではなく、自分で探すのも良いと思います。(意見にはなっていないとは思いますが)

⇒フィットネスエリアについては、個別での使用ができませんので、御理解いただければ幸いです。

また、「ボランティア活動は自分で探すのも良いと思います」については、そのとおりであると認識しています。

## 学習・進路部

○英語の提出物が若干多い気がします

⇒英語科でも意識をするようにします。

○体育座りをなくして欲しい。体育座りは腰や足に負担がかかり、しびれや集中力の低下につながるため、無理に強制せず、より楽な姿勢を選べるようにしてほしい。

⇒それぞれの座りやすい形での座り方にしたいところですが、本校では全校生徒が入るとかなり狭いのが現状です。そのため、体育の授業等を通して、スペースを効率よく座る方法について、共有しているところです。今後、身体に異常をきたすような状況であれば、担任の先生に相談してください。

○テストや検定等に環境が悪い。

⇒古い校舎などで不便をかけていますが、区教育委員会とも連携を図りながら、より良い校舎の維持に努めているところです。

○放課後自習が可能な自習スペースを確保してほしい

⇒図書館の開放等、検討したいところですが、管理者が見つからないところです。

## DX 推進部

○iPadの使用時間制限を、家庭で操作できるようにしてほしい。

⇒現在使用時間制限は行っておりません。しかし、次年度にiPadのリニューアルがされますが、その中では、YouTubeの視聴は官公庁のみやインターネットが深夜一定の時間までになるとの連絡が入っております。

## 保健・給食

○最近食品ロスが多いのもっとゆっくりたくさん食べられるよう給食時間を増やしてほしい。

⇒下校の時間をもっと遅くするのは、部活動の時間に制限が出たり、自宅での余暇の時間を減らすことにつながります。教師としても、生徒としても今以上、下校時間を遅くしたくないといった意見もある中で、現在の時間を設定しているところです。

○揚げパンがなぜすくないのか

○給食でカレーもっと出してほしい(他2名)

⇒給食メニューについては栄養バランス等を踏まえ、月ごとに決定しているところです。

## 保護者意見

### 教務部

○学級閉鎖になったクラスが出たら tetoru で連絡して欲しい。気をつけるきっかけにもなる。

⇒本校では、学級閉鎖になる前に、オンライン授業を実施し、集団感染の未然防止に努めているところです。

そのため、昨年度以降、学級閉鎖は一度も実施しておりません。なお、オンライン授業(学級一斉)については、現在もtetoruでの事前配信を行っており、今後も行っております。

○新しい取り組み、形態、雰囲気はとて面白いと思います。

⇒本校の教育活動への御理解についてあらためて御礼申し上げます。このような御意見の一つ一つが、私どもの教育活動をより良いものにする原動になっております。今後ともことあるごとに暖かい御意見を賜えれば幸いです。

○篠中体育館の夜間開放は現在限られた方々に押さえられていて、利用したくてもできないので希望者が平等に利用できるように改善してほしい。

⇒夜間開放については、本校だけでなく、区教委の意向もあるため、今後、区教委とも相談していければと考えております。

○2学期が始まった頃、9月5日の台風の日、前日から線状降水帯が発生するかもしれないと天気予報でも報告されるほどの中、水泳の授業がありました。そのことに今でも疑問を感じています。3年生は修学旅行も控えていましたし、溺れてしまう危険性もあったのではないかと思います。水泳は天候に左右されてしまい時間数の確保が大変なのは十分に理解しているつもりですが、それ以降学校活動に不安を感じる場合があります。結果的に何も影響がなかったのが幸いでしたが、来年度の水泳指導では安心して子供を預けられるようにして頂けたらと思います。

⇒授業の安全面については、今後も、今まで以上に留意をしながら対応を行って参ります。

○保護者では回答できない設問があると思います

⇒保護者の方々には、学校との関わりについて温度差があり(学校との関わりが薄い方を否定していることではありません)、網羅的なアンケートになっていることについては大変恐縮いたします。そのため、保護者の方々は、回答できない部分については「わからない」で結構です。

○学校のことを、詳しく話すことはないので、あまり様子はわからず申し訳ございません。

⇒網羅的なアンケートになっていることについては、大変恐縮いたします。保護者の方々に、回答できない部分があれば「わからない」で結構です。

### 生活指導部

○先生方や友達らと、良い関係性をもって過ごしているように思います。今後も、体も心も健康に安心して過ごせる学校環境であることを願います。

⇒本校の教育活動への御理解についてあらためて御礼申し上げます。このような御意見の一つ一つが、私どもの教育活動をより良いものにする原動になっております。今後ともことあるごとに暖かい御意見を賜えれば幸いです。

○私は社会人になった頃、「人を褒める時は大勢の前で、叱る時は個別に。」と言われました。が、娘の会話を聞いていると、キツイ言葉遣いを耳にする機会が多いように思います。

⇒教師の指導場面は多種多様であり、一概に「人を褒める時は大勢の前で、叱る時は個別に。」といったことで教育現場に混乱をきたすことになりかねないと感じております。ただし、不適切な指導がある場合には、御連絡をいただければ、その都度、調整はして参ります。

○夏は、ジャージ登校にして欲しいです

⇒可能な限りの検討をしたと思いますが、標準服の大切さも生徒にとっては大切な教育であるとの認識です。

○安心して通わせることができます。いつもありがとうございます。

⇒本校の教育活動への御理解についてあらためて御礼申し上げます。このような御意見の一つ一つが、私どもの教育活動をより良いものにする原動になっております。今後ともことあるごとに暖かい御意見を賜えれば幸いです。

○部活動に、顧問が顔を出さない日もあるようですが、せめて終了時などにはどうでしょうか。

⇒教員の本務は、あくまでも放課後前の授業等の時間になります。それを前提に本校では、コミュニティスクールを運営する学校運営協議会を中心に外部指導員等について、約50名程度を導入し放課後の部活動を支えている状況です。顧問も可能な限りでの部活動の支援をさせていただきます。日々の学校生活の中、様々な不都合が生じているかとは思いますが、何卒ご理解を賜われれば幸いです。

○いつも大変お世話になっております。子の話と態度から、先生方に信頼をいていることが窺えます。おそらく日頃から生徒ひとりひとりをよく見てくださって、コミュニケーションに努めてくださっているおかげかと思われま。多感な年頃で、大人をよく見ており、先生方の一挙手一投足を自立途上のメンタルで観察しているように思います。安心してお任せ出来る環境であると思っておりますが、学校全体で、今後とも変わらずよろしくお願い申し上げます。担任の先生のご尽力に、心より感謝申し上げます。

⇒本校の教育活動への御理解についてあらためて御礼申し上げます。このような御意見の一つ一つが、私どもの教育活動をより良いものにする原動になっております。今後ともことあるごとに暖かい御意見を賜えれば幸いです。

## 学習・進路部

○試験前の講習、補習を希望者全員受けられるようにしてほしい。

⇒放課後補習については、区教委が主催している民間を活用した形になっております。そのため、本校だけで決定できることはなく、御理解していただければ幸いです。

○子供達の間では、篠中は評価で4や5をもらうのは難しいと有名らしいのですが、テストの点が90点以上、提出物もきちんと出している、授業態度も良い子が3でそれよりも低い子が4をもらっていたりする(お気に入りの子)。先生のお気に入りの子供は良い評価が付いているそうです。詳しくは分かりませんが他のママも言っていたので子供の夢を潰さず、公平に評価してほしいです。

⇒評価に関しては、全国一律「知識・理解」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学ぶ態度」の3観点で行っております。そのため、定期考査の点数はその一部であり、定期考査の点数では一概に評定が定まるものではありません。

ありません。さらには、江戸川区では、学校以外の「成績一覧表調査委員会」での確認をしながら、適正に評価を行っておりますので、公平に評価を行っております。必要であれば、事前に御連絡をいただければ、詳細の御説明を差し上げますので、御連絡いただければ幸いです。

○先生の教え方がわかりにくいとよく聞きます。わかりやすく教えられる先生にして欲しかったです。生徒の声を聞いて欲しいです。

⇒授業改善については、全教科で行っていきたいと思います。

## 体育行事実行委員会

○運動会の観覧席を用意してくれたのはとても良い事だと思えますが、小さい子を座らせてその子はずっと運動会を見ずスマホを触っているなどせっかく用意した椅子席が無駄になってしまっていた場面もありました。可能であればもう少し観覧出来る場所を増やして欲しいです。あと、学校側から、次の種目に移る前に声がけしてほしいです。

⇒席の譲り合いについては、学校からも再三お声掛けをしているところです。学校としては、あくまでも保護者の方々が対象であるため、ルールではなく、マナーの範囲で譲り合っていただければ幸いです。また、観覧できる場所については、木を伐り、教室を増やすなどしてスペースを増やしたところであり、これ以上のスペースの拡大は困難であるとの認識です。

## DX部

○学校情報は手紙と子供からの情報、たまにWEBを見に行きます。

⇒今後も可能な限り、学校情報を地域に発信して参ります。

## 保健・給食部

○給食に関して、味付けが濃すぎたり、逆に薄すぎたり、美味しく食する日が少ないと聞いております。物価高騰の中、給食費も無償化になり予算内での提供に感謝しておりますが、もう少し味付けの工夫をしていただけると嬉しく思います。

⇒本校では、調味料の配分等についても、栄養士の管理のもと、調理を行っておりますが、これらの御意見を踏まえ、今後とも改善・工夫を行って参ります。

○給食の量が多くていつも残るので勿体ないと子供達が話しています。可能かはわかりませんが、いつも残る分を質に当ててくれたら無駄も減ると思います。

⇒質や量はもちろんのこと、残量等を踏まえ、本校では栄養士が一定の基準のもとにメニューを考えております。今後とも、より良い給食の提供については工夫・改善をして参ります。

○「給食後歯磨きのお知らせ」が年度初めに配布されましたが、実施されていないようですね。歯ブラシを持たせようとしたら「誰もやってない」と返されました。

⇒本お知らせについて、学校での周知徹底がなされていないことについて深くお詫び申し上げます。今後は、改めて周知徹底を強化して参ります。

○給食の時間が短いので、もう少し時間を取って欲しいです。

⇒現状では、国に定められた時間等をやりくりする中で、昼休みや放課後の活動も大切にしたいことを踏まえる中で、毎年、給食時間等について検討をしております。今後より良い時間について、全体を踏まえ検討して

参ります。

## その他

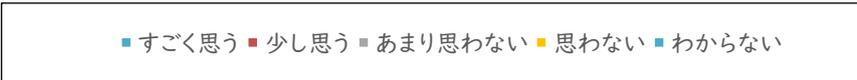
○昨今の物価高で塾や習い事の費用捻出の為に就労する保護者が多く、現役の保護者が学校の活動に関わる時間を作るのも以前に比べて負担に感じます。幸い地域や保護者 OB の力が強いようなので PTA で行ってる鹿骨区民館まつりやフェスタなどの行事を OB や地域の方が中心となって行った方が、より盛り上がり保護者の負担も軽減すると思います。ご検討お願い致します。

⇒PTA 会長と情報共有させていただき、今後に生かしていきたいと思います。

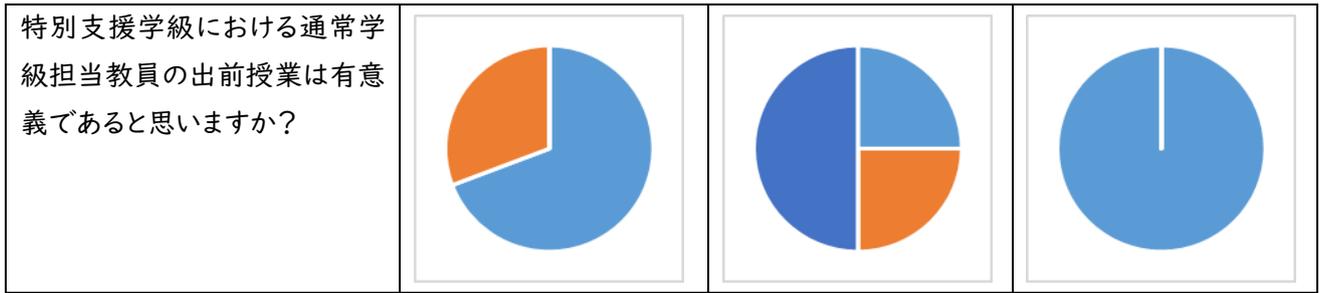
○子供のアンケートは、子供に直接やらせてほしい。PTA のボランティアは、1人1回で良いと思うが、補欠の人が多くいらっしゃるの是不公平だと思う。学年委員がフェスの手伝いもしたりするぐらいなら、1人の負担を少なくして、補欠をなくしてほしい。

⇒PTA 会長と情報共有させていただき、今後に生かしていきたいと思います。

②特別支援級



	生徒(13名)	保護者(4名)	教員(4名)
学習するのに望ましいクラスになっていますか？			
年間の学習活動は適切であると思いますか？			
朝のトレーニング週間は適切であると思いますか？			
野菜や雑巾販売、喫茶店などの作業学習での取り組みは適切な学習ですか？			
通常学級との交流および共同学習は有意義であると思いますか？			



### 生徒意見

〇8組のトイレを綺麗にして欲しいです。

⇒古い校舎で、生徒の皆さんには不便をかけていることは承知しております。一方で、区全体を見渡す中で、新築校舎になっているのは、ほんの一部です。そのためにも、生徒の皆さんは、校舎といったハード面より、自ら学校をより良いものにするかを考えてもらえればと考えております。

### 保護意見

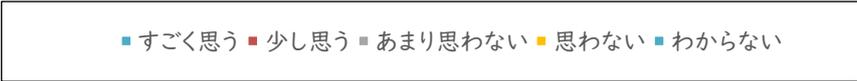
〇今回のアンケート項目に関しては、管理者の対外アピールのための目的ありきになっていると感じている場面もあり、アンケートの項目自体や達成する手段を今一度ご検討いただけると個人的には嬉しく思っています。

⇒今回のアンケート項目については、あくまでも学校運営協議会に承認を得た、「令和7年度学校経営計画」に基づき行っているものです。次年度につきましても、学校運営協議会の中で、様々な御意見を賜りながらより良い学校を目指し経営計画を立てているところです。

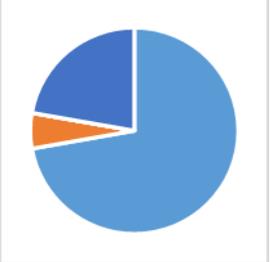
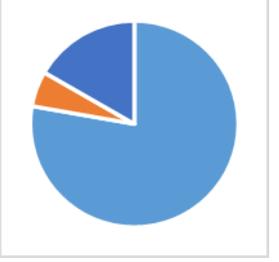
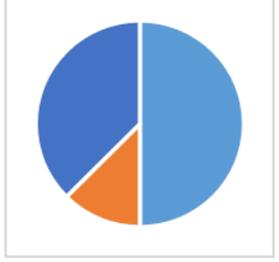
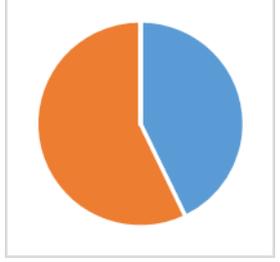
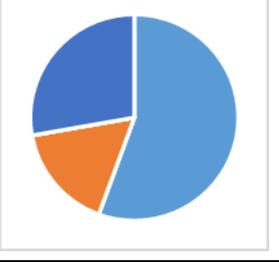
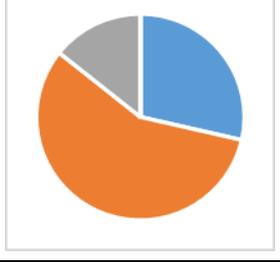
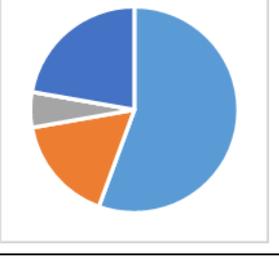
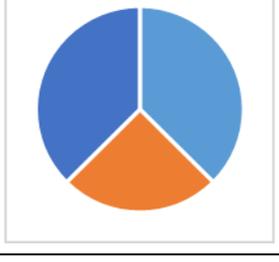
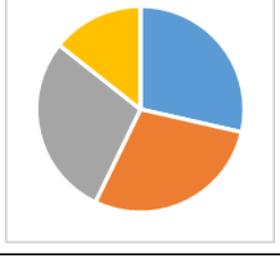
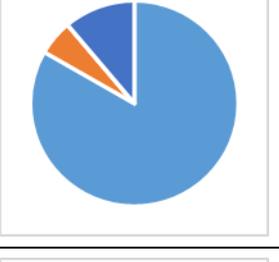
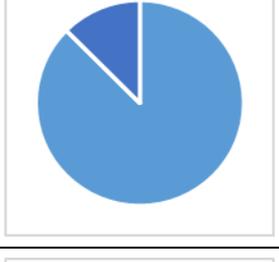
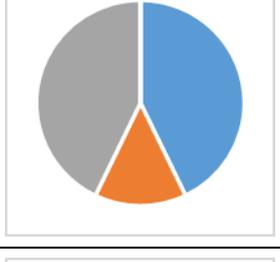
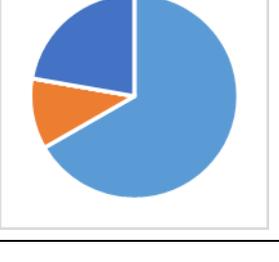
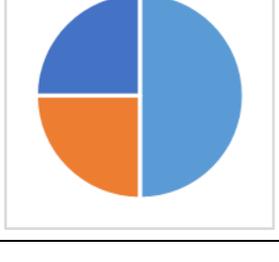
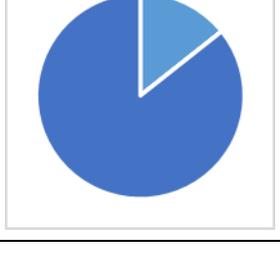
〇以前もお話しさせていただいたことがありますが、宿題に関して今は3行日記だけとなっておりますが、他の宿題もご検討いただきたいと思えます。

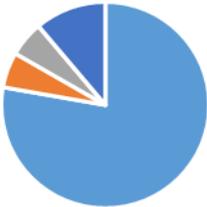
⇒宿題については、各教科等の担当が教育活動全体を踏まえながら適切に判断していると考えております。また、宿題を増やすことが一概により良い教育活動につながるものではないと認識しております。

③チャレンジ学級



	生徒(18名)	保護者(8名)	教員(7名)
習熟度別自由進度学習(国・数・英)は役に立っていますか?			
音楽科、美術科、技術科、家庭科の学習は充実していますか?			
定期考査の廃止や評定を付けないことは適切であると思いますか?			
理科・社会科における、課題解決型の学習は出来ていると思いますか?			
全学年合同の体育の授業、通称名「リラックス」は有意義ですか?			

9組の生活のきまりは適切ですか？			
「L-Gate(連絡帳)」は適切ですか？			
ソーシャルスキルトレーニング(SST)は適切ですか？			
オンライン授業は有意義ですか？			
教室環境は適切ですか？			
「ほっとルーム」での指導は適切でしたか？(利用した生徒のみ回答)			

遠足や宿泊などの体験的な学習は適切ですか？			
特別支援学級との交流給食は適切ですか？			
部活動やボランティア活動を行うことができましたか？			

### 生徒意見

○学校生活楽しい!!!

⇒ありがとうございます。今後もより良い学校を目指していきたいと考えております。

### 保護者意見

○こうやって学校が楽しいと言って通えるようになった事とても嬉しいです。篠崎中学校の先生は皆さん熱心に生徒の事を考えてくれて、安心して学校に通わせる事ができます。いつも本当にありがとうございます。

⇒本校の教育活動への御理解についてあらためて御礼申し上げます。このような御意見の一つ一つが、私どもの教育活動をより良いものにする原動になっております。今後ともことあるごとに暖かい御意見を賜えれば幸いです。